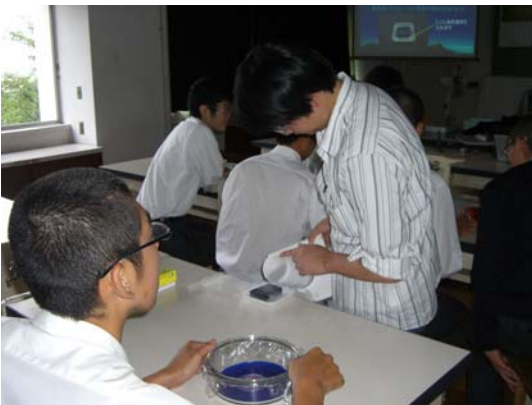


6月26日(月)講座「原子核と放射線」

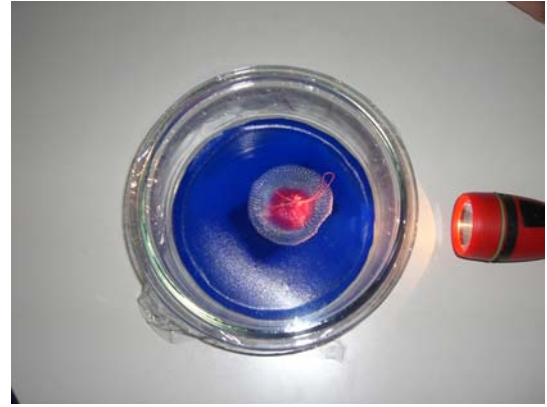
生徒は放射線についての講義を受けた後、霧箱の実験を行い、放射線を観察しました。初めて学習する内容でしたが、生徒達は講義を真剣に聴いていました。その後、霧箱の実験を真面目に行っていました。



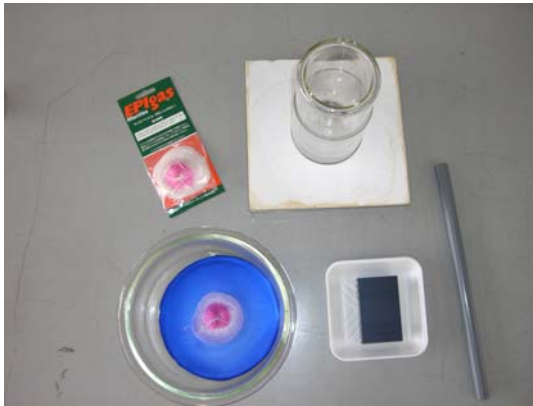
ガラス容器の中にアルコールを入れ、容器全体を液体窒素で冷却します。このとき、ガラス容器内には市販のランタン用布芯を入れておくと、そこから出る放射線が霧を発生させます。生徒達は、その様子をグループ毎に観察しました。



TAの方々が各班を巡回して、実験の内容についての補足説明及び生徒の質問に丁寧に答えられました。



部屋を暗くし懐中電灯でガラス容器を横から照らすと、放射線により発生した霧を観察できました。



今回の講座において、使用した実験装置です。



今回のSPP講座において、生徒達を指導して下さった植松英穂教授、中島基樹先生、(日本大学工学部物理学科)です。